

認知症基本法(共生社会の実現を推進するための認知症基本法)の期待と不安

2023年7月5日 佐藤雅彦

- 1 基本法の名称「共生社会の実現を推進する」と名前にある様に、認知症の人が他の認知症でない人と対等な立場で協力して、「共生社会」をつくり上げていき、基本法が絵に描いた、もちにならない様に、私たち当事者の行動が問われます。
- 2 認知症当事者にとって住みやすい社会とは、認知症自身が自分の頭で考えて、行き過ぎの介護はキッパリ断って、能力が落ちない様に、できることは時間がかかってもさせてもらい、効率第1主義でない、ゆとりある社会を旨いしめしよう。過保護はやめさせましょう。
- 3 どこに住んでもある一定の医療、福祉サービスが得られる様に、国及び地方自治体のせさくに関心を持ち、情報を要求して、監視しましょう。
- 4 自分の住んでいる町で、住みやすい、社会にする様に日頃から関係機関と話し合いの場を持ちましょう。
- 5 認知症施策を作成する、会合には積極時に参加して、要望、意見を述べます。。
- 6 認知症バリアへの合理的配慮を求め、認知症だという理由での差別に抗議しましょう。
- 7 認知症になったら、人生終わりだという、偏見をなくしていきましょう。
- 8 認知症になっても、基本的人権があること自覚して、人生を楽しみましょう。
- 9 認知症であるという理由で、社会参加ができない、差別をなくしましょう。
- 10 切れ目のない 医療 福祉サービスを要求する、根拠となる、基本法を勉強する会合を持ちましょう。

問題提起 認知症当事者

下記の利用で認知症で一人暮らしができなくなった当事者にどう回答しますか
条件

- 1 どこに相談にいたら良いのかわからないので、要介護認定を受けていない。
- 2 お金がないので、有料介護施設には入れない。
- 3 判断力が鈍っているので、今後のことを自分で決められない。

標準回答、包括の職員に相談して下さい。

あなたが包括の職員で相談に乗る立場ならどんな解答をしますか

認知症の人が一人で住み慣れた地域で暮らせない理由

- 1 お店で、お目当ての商品の棚が見つけれなくなり、必要な商品が買えなくなる。
百円玉と一円玉の区別ができづらくなり、小銭をを使用して支払いができなくなり、いつもお札で支払うので、小銭が財布の中に貯まる。
お財布が見つからなくなり、買い物に行けない。

暗証番号を忘れて、ATMより現金が引き出せない。

解答例

自分が認知症で、商品の位置がわからないので、一緒に買い物に付き合ってくれないとできないですかと丁寧に頼む。

信頼できる人に、キャッシュカードの暗証番号を記録しておいてもらい、一緒に銀行に行き、暗証番号を読み上げてもらい、自分で暗証番号を押す。キャッシュカードは、渡さなく自分で管理する。

2 正しいゴミ出しができない。

日付がわからなくなるので、生ゴミか、資源ごみの日かわからなくなり、ゴミ出しができない。

ゴミの分別ができないので、ゴミ出しができない。

対策例 介護保険サービスを利用して、ゴミをヘルパーに分別してもらおう。次回のごみ収集がいつで、どのゴミを出すのか、ホワイトボードを買い、ヘルパーさんにメモしてもらおう。

iPadを買い、iPadの操作を覚え、自分でiPadにゴミ出し日をメモする。

3 食事の用意ができない。

料理の手段取りができなくなり、料理ができない。

時間感覚がないので、いつ料理を始めて良いかわからない。

ご飯の炊飯のスイッチをいれわすれる。

調理時間がわからなく、火を消し忘れて、鍋を焦がしたりして、料理ができない。

対策例 ヘルパーさんに料理を作ってもらう時間があれば、自分も料理を作るのに参加する。炊飯器のスイッチを入れる時間にタイマーをセットして、自分で炊飯器のスイッチを入れる。

4 洗濯の手順がわからなくなり、洗濯できなくなる。

洗濯物を取り出すのを忘れて、干した洗濯物を取り入れるのを忘れる。

解答例 洗濯の手順を紙に書いて貼って、おく。

タイマーをかけて、洗濯物を取りに行く。

5 着替えた日を忘れるので、着替えの時間がわからないので、いつも同じ服を着ている。

対策例、朝必ず下着と洋服を着替えると言う習慣をつける。

6 日にちの管理ができないので、病院に行く日を間違える。

病院までの、交通手段を間違えて、病院に行きつかない。

病院での、会計処理ができない。

医師の説明が覚えられないので、治療ができない。

解答例 スマホの操作を面倒だと思わずに、何回でも練習して操作を覚える。

医師とのやり取りをの音声をスマホで録音する

7 お金の管理ができない。年金での生活ができない。

決まった額の現金を毎月おろし、前半と後半にはけて、管理する。16日にならないと後半のお金に手をつけない習慣をつける。

8 気力がなくなり、部屋の掃除ができなくなり、ゴミ屋敷になる。

解答例 介護サービスを利用して、ヘルパーさんと一緒に部屋の掃除をする。

9 回覧板の内容を覚えられないので、トラブルをを起こす。話を聞く集中力がなくなる。

解答例 スマホまたはタブレット端末で回覧板の写真を撮り、いつでも見れるようにしておく

10 人と満足なコミュニケーションができなく、トラブルを起こす。

解答例 親しい人に訪問してもらかボランティアに話の相手をしてもらい、会話の練習をする。

11 悪徳業者に騙される。字が書けなくなり、メモすることができない。

解答例 登録されている人しか電話に出ない、知らない人には玄関のドアを開けない。

スマホの操作を覚え、音声入力でメモをするようにする。

12 知人の名前を忘れるので、電話かけられなく、困った時、助けを呼べない。

3人ぐらいの人を電話帳に登録して、名前を選択して電はする。

13 温度感覚が鈍り、部屋の中で熱中症になる。

解答例 ヘルパーさんにクーラーの適正温度を設定して、温度計を見てこまめに冷房ののスイッチを入れる。

14 喉が渇きにくくなるので、脱水症状になる

解答例 喉が乾いてなくても定期的に水分を取る。

15 言葉を忘れて、メモができない。言葉を忘れて、自分の住所も言えず、救急車も呼べない。

メモしても、メモした紙をどこにおいたのかわすれる。メモしたノートが出てこない。

よく使う文、例えば、「病院に行く日」、今週の予定をヘルパーさんにホワイトボードまたは、紙に書きよく目立つところに貼っておく。

16 何かする、意欲がなくなり毎日ボケーとして、過ごしているので、能力が落ちことに気が付かず、体調が悪くなった時、助けを呼べない。

解答例 暑い時は早朝に起きて散歩をするなどして、体調の管理に充分注意する。悪くなったらもう遅いので、いつも体調に気をつけておく。 今後の課題。

17 整理整頓ができなく、必要なものを探すので、混乱して気分が悪くなる。

解答例 いらぬものは思い切って捨てて部屋をきれいにしておく。

18 文字が書けないので、新しい健康保険証をうけとりことができない。

文字が書けないので、福祉サービスの契約書の署名ができなく、福祉サービスが使えない。

解答例 支援者の力を借り、契約して、福祉サービスを受ける。

19 気力を無くし、必要な市の広報誌読めなくなり、必要な情報が得られない。

解答例 支援者にその人に必要な情報だけ読んでもらう。

20 署名ができなく、色々な生活補助金が受け取れない。

ATMで現金が引き出せなく、買い物ができない。

解答例 信頼している人に代筆を頼む。信頼している人に暗証番号をメモしてもらって、銀行について行って暗証番号を朗読してもらい、自分で暗証番号を入力する。キャッシュカードは、信頼している人であってもカードを渡さない。

21 気力がなく、銀行、郵便局に行けなく、現金が引き出せない。

キャッシュカードが見つからなくて、現金が引き出せない。

暗証番号を忘れて、現金が引き出せない。

本人確認のためのマイナンバーカードを無くし本人確認キャッシュカードの再発行手続きができない。

本人確認のマイナンバーカードを無くし、健康保険証の再発行手続きができない。

解答例 マイナンバーカードを定位置に置き、何か重要書類をなくしたら人についてもらって再発行をする。

22 コンビニ、スーパーなどお買い物するときに、決済処理ができない。

解答例 電子マネーでタッチすれば決済できるように操作を覚える。

店員さんにお財布を渡して、会計処理をしてもらう。ボランティアさんに買い物に付き合ってもらう。介護保険サービスで、ヘルシーさんに買い物に付き合ってもらう。

23 自分の財産、持ち家を処分することができなく、同じ地域に住み替えることができない。

解答例 判断が正しくできるうちに逆モーゲージで家を処分する業者を探して家、を処分して、家賃を払いながら自宅に住み続ける。

24 同じ地域に住み替えるとき、保証人の問題をどうするか。

今後の検討課題！

地域で住む続ける時の課題は何か

- 1 認知症になり買い物ができなくなったときどうするか。
- 2 認知症になり、福祉サービスが必要になったとき、どうするか。誰が情報を届けるのか。
- 3 1人で病院に行けなくなったとき、どうするか
- 4 悪徳業者にあったらどうするか。あってからは遅い、予防にどうするか

住みやすい地域を作るための私の提案

1 住みなれた地域でいつまでも住み続けるには、ご近所と仲良くして、認知症になったら、隠さず、こんな症状が出たら教えて下さい、伝えて、近所の協力をしてもらいたいと、頼みに行く。

伝えたいこと

- 1 認知症になっても不便であるが、不幸でない。
- 2 認知症になっても、できなくなることも多いができることも沢山ある。
- 3 ご近所の、ちょっとした手助けがあれば、認知症の人でも普通に暮らせる。
- 4 楽し人生とは、役割があり、社会と繋がっていること。
- 5 趣味を持って、人生を楽しむこと。

地域包括ケアシステム

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとに、可能な限り、住み慣れた地域で自分らしく、暮らしを人生の最後を続けることのできるような地域の包括的な支援サービス体制である。

重要な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が望まれる。

認知症実態調査

目的 認知症の人ニーズを調査して、認知症施作の作成に結びつける。

方法 認知症当事者と知り合って、仲良くなり、認知症当事者の実態調査に協力してくれる人を探す。その人と、認知症推進員で3人で、調査項目を練り上げる。

もし、実態調査するとこんな項目があったらいいなと思います。

1 要支援、要介護名簿より 認知症リスト、と若年認知症リストを作成する

2 年齢を聞いて

20代 30代 40代、50代、61-65、66-70、71-75、76-80、81-85
86-90 91-95、95歳以上

3 経済的に困っていますか Yes. No

4 認知症カフェを知っていますか。 yes No-

⑤ 認知症カフェを知っていると答えた人に

認知症カフェに参加したことがあるか Yes No

6 認知症カフェに参加して、楽しいとこと得た人に
楽しいと感じた人きくこと

a. 音楽リクレーションが良かった Yes. No

b 認知症同士話ができて良かった Yes. No

C. カフェの場所がいきやすかったか Yes No

D. 時間 長い 適切 短い

6 つまらなかつた人に理由を聞く

A 全てボランティアが準備してくれて、お客様だった Yes. No

B. 認知症当事者が1人だけで、つまらなかった Yes. No

C. 行きやすかったか Yes. No

D. 時間 長い 適切 短い

7 カフェにはお一人で参加しますか Yes No

8. 同居人はいますか Yes No

- 9 カラオケ店まで送迎付き、機械の操作はボランティアがやってくれるなら、カラオケにさんかしますか。
- 10 散歩はしますか。一緒に散歩する仲間がいれば、参加しますか。
- 11 なんらかの割引制度があれば、スポーツクラブに参加したいですか。スポーツしたいですか
- 水泳は好きですか。機会があれば機械をつかったら筋トレしますか。
- 12 川口駅前の行政センターの会議室の認知症当事者同士の情報交換の集いがあれば参加しますか。
- i 3 お薬カレンダーに薬を設定されていれば、薬を飲み忘れなく飲むことができますか。
- 14 若い頃、そしていま楽しみはなんですか。

若年認知症の人にお聞きします。

- 15 タブレット、端末で、写真を撮ったり、写真のアルバム作る作る、タブレット端末の使い方のサークルがあれば、参加しますか。タブレット端末の操作を覚えたいですか
- 16 社会参加の場があればさんかしますか。例えば、サンテピア屋上庭園、グリーセンター、の花の手入れなど。
- 17 あなたは、社会参加して、社会の役に立ちたいですか。
- 18 あなたの生活の張りはなんですか、あなたの楽しみはありますか。
- 例 A. 絵を描くことなど、趣味をすること
b 気のあった友立ちと食事をすること。
c カラオケに行くこと。
d 映画を見ること
E. 自由記述で書いて下さい。
- 19 最近、支援者と一緒、または、1人で映画を見に行っていることがありますか。
- 20 あなたは、財布を持たせてもらって、低額の買い物を自由にできますか。
- 21 あなたは、就労したいですか。
- 22 あなたは、友達と1人で出かける自由がありますか。
- 23 あなたは、保護という名目で、自由が奪われていませんか。
- 24 あなたの行動に、家族による、制限がありますか。
- 25 あなたは家族と暮らしていて 息苦しいこと感じたことがありますか。
- 26 あなたは、あなたのお小遣いに満足していますか。 満足している、していない。
- 27 認知症という理由で、不利益を受けたことがありますか
- 例

- ・あなたはボランティアに参加したいの申し出たとき、認知症をという理由でb断られた。
- ・福祉サービス(作業所などの参加)で断られた。

- ・ 有料老人ホームなど、介護施設に見学に行ったとき、介護者と一緒に来て下さいと言ってことわられた
- ・ 日帰りバスツアーなど、イベントで認知症を理由に、1人で参加することを拒否された
- ・ 温泉旅館で、認知症と言う理由で、1人での宿泊を拒否された

自由記述

私が認知症施策を作成している人に伝えたいこと

市の認知症問題の抱えている課題を教えていただいて、一緒に課題解決に向けて考えていきましょう